

## 第1回 釜南学校運営協議会記録

- 1 日 時 令和元年5月8日（水）15：00～17：00
- 2 場 所 釜利谷南小学校 スタジオ会議室
- 3 内 容
  - ①開会の言葉・学校長挨拶 田中校長
  - ②教育委員会挨拶 赤羽指導主事
    - ・学校運営協議会の説明
  - ③自己紹介 参加委員自己紹介
  - ④委嘱状授与 赤羽指導主事
    - ・各委員へ委嘱状授与
  - ⑤学校運営協議会 会長挨拶 井手幹雄委員長
    - ・地域住民と学校のニーズをピックアップする
    - ・人材育成が要 横浜らしくグローバル化の視点がほしい  
西金沢学園（小中一貫校）とそうでない学校の違い、切磋琢磨する力の  
つけ方を見てみたい。
  - ⑥協議会
    - ・学校運営協議会について
    - ・中期学校経営方針について
- 4 参加者 井手 幹雄（委員長） 天野 旭（副委員長） 宮島 馨  
野中 絵里子（PTA 会長） 高橋 弘子 松野 由美子  
茶谷 知子 加藤 千春 相澤 利隆 栗田 智則（釜利谷中学校長）  
春口 廣 赤羽 博明（指導主事） 田中 さくら（学校長）  
関口 義和（副校長） 倉島 英治（教務主任）  
井上 由紀（児童支援専任） 計16名
- 5 意見交換、報告等
  - ・ユニバーサルデザインだけでなく、ユニバーサルカラーの使用も取り入れてほしい。
  - ・柔軟体操の家庭への宿題を入れてほしい。
  - ・説明力の低下が見受けられる。音読の少なさも気になる。教科書だけでなく、初見のものも出してほしい。できれば、親も飽きないものがよい。
  - ・家庭内で、単語での会話が増えている。保護者にも責任がある。
  - ・自然を生かした取り組み、体験活動の取入れをしてはどうか。いじめをなくすではなく、いじめの芽を摘むことが大切である。
  - ・資料より、「放課後の過ごし方、目標をもって学習する」が、高学年になるにつれて下がっているのは気になる。先生の言うことには、重さがある。先生からも放課後の

過ごし方について言ってもらえないだろうか。

- 勉強をする、しないの二極化への取り組みをどのようにとらえるか。
- のんびりとした時間の過ごし方、体験的な活動の取入れについては、理想はある。情操教育のための劇団・音楽体験は取り入れている。体験活動や遠足も実施している。学校教育では、授業時間やコマ数が限られている。やるべき時間とやらせたいこととのマネジメントに取り組んでいる。
- 放課後の決まり事について、明確にしてほしい。しかし、学校では、放課後のことまで決められない現状がある。宿題については、授業の補助の側面がある。
- 放課後の校庭利用について、知らない子が多い。学校のきまりとして周知している。

